



公益社団法人
茨城県理学療法士会
Ibaraki Physical Therapy Association

第 17 回茨城県理学療法士学会開催について

公益社団法人 茨城県理学療法士会 学術・教育局長 富田和秀
学会・研究部長 倉持修

茨城県理学療法士学会は、ここ数年 12 月開催が恒例となっておりますが、先般ご案内いたしました通り、第 17 回茨城県理学療法士学会は平成 26 年 2 月 9 日(日)に開催する運びとなりました。この経緯ですが、理学療法士講習会や認定理学療法士必須研修会、協会指定研修等の増加、茨城県理学療法士会主催の事業総数の拡大など、大幅な日程調整が必要になってきたためです。また他の関連学会の会期をみますと、日本理学療法学会(5 月)や全国学術研修大会(10 月)、関東甲信越ブロック理学療法士学会(11 月)、リハビリテーション関連団体による学術集会、茨城県内の関連団体による学術集会等(12 月他)と 1 年間を通して開催されており、会員皆様の演題発表に関する諸準備を想定した場合、過密なスケジュールにならないように配慮した経緯もございます。このような状況の折、今年度、本会主催事業は年度を通して開催日程の均等化・分散化を図り、会員の皆様が各事業への参加を日程都合の上、妨げとならないことを念頭に、開催時期の大幅な変更をさせていただきました。

さらに平成 26 年度、第 18 回茨城県理学療法士学会は 7 月の開催で検討を進めております。7 月 17 日を挟んだ一週間は「理学療法週間」となり、全国各地で理学療法に関するイベントやセミナーが多数行われます。その時期の開催により県民の医療・保健・福祉の発展に寄与した公益社団法人としてのイベントとして、県民・地域住民の皆様に理学療法と理学療法士をより身近に感じるきっかけとなるよう、現在企画検討中にあります。

いずれにいたしましても、大会の成功の鍵は会員の皆様の熱心なご議論にかかっております。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

目 次

1. 第 17 回茨城県理学療法士学会開催について	1
会長寄稿【第 1 回】	2
忘年会のお知らせ	3
理学療法士連盟定期総会・研修会のお知らせ	3
2. 各種事業報告	5
3. 各部局からのお知らせ	10
4. 士会・協会主催研修会	21
5. 各種研修会・イベントの案内	28
6. 求人広告	34
7. 異動・休会・復会・退会等の手続きについて	35

会長寄稿

プロフェッションとしての振る舞い、なすべき事と社会への還元について【第1回】 ～上半期を振り返り想うこと、下半期に向けて考えること～

会長 斉藤秀之（筑波記念病院）

平成25年度の上半期が過ぎ、振り返ってみました。

後世で振り返った時に本会の大きな転機となる出来事がありました。公益社団法人への移行です。そして本会執行部はその想いを、「北茨城地域自立支援センター」「訪問リハビリテーションサポートセンター」「県保健衛生会館への事務所移転」で県民に現しました。このことは、県内において大人の団体として自立を宣言するものです。秋の夜長、会員各位においても、このことの重みと深みを噛み締め、プロフェッション集団による「公益とは何か」について、恥ずかしながら仲間と語り合っ、真摯に考えて欲しい。

そのような想いを、全3回にわたって掲載します。

●法令遵守・遵法精神と倫理観が欠如していませんか

建造物侵入、住居不法侵入、窃盗、青少年健全育成条例違反、迷惑行為防止条例違反、自動車運転過失致傷、道路交通法違反、強制わいせつ、収賄、脱税、恐喝、という言葉は皆さんご存知ですか。

理学療法士が上記の犯罪で逮捕され、新聞やネット上で実名が公表され、さらには失職する事態に及んでいます。自分が犯していなくても、同じ国家資格者が遵法精神を犯すことにより、目には見えないところで自分自身に不利益を生じます。気がついた時には手遅れです。世の中の風潮なのでしょうが、風紀や常識が昔と違うでは済まされません。

建築士や某有名介護事業経営者などが、自分自身のモラル・ハザードにより、それぞれの業界が国民から信頼を失い、強い規制がなされ、成長が止まってしまいました。

歴史が物語っています。

大前研一さんは、専門家（スペシャリスト）、一般人（ジェネラリスト）と職業人（プロフェッショナル）を区別し、「プロフェッショナルは、感情をコントロールし、理性で行動する人であり、専門性の高い知識とスキル、高い倫理観はもとより、例外なき顧客第一主義、あくなき好奇心と向上心、そして厳格な規律を兼ね備えた人材である。プロフェッショナルはどんなに大きく前提条件が変わってもその底流にある変化の本質を読み取り、誰よりも能力を発揮する。組織の長としては、当該組織を誤りなき方向に導き、発展させる。」と定義しています。

会員一人一人の高い倫理観を求めます。

●利己的、自分本位、部分最適になっていませんか

アメリカの医師教育における「プロフェッショナリズム」は、「患者、家族、同僚との思いやりを通じ、尊敬の念、思いやり、誠実さ、利他性を実践する」「患者や他の専門職の性、年齢、文化、宗教、性的嗜好、社会経済状態、信念、行動、障害に対する感受性と反応性を実践する」ことを教育することとあります。

皆さん、誰かを支援したいと思って理学療法士を目指した志を忘れていないですか。支援するということは、他者の思いを聞き入れずに、自分勝手な自分の考えを押し付けることではありません。ましてや、根拠がない自説を振りかざして、あるいは無視や手抜きという振る舞いはもってのほかではないでしょうか。利用者に自分の考えや治療を押し付けている、利用者から協力的動作を引き出せない場合に、他の手立てを示すことが出来ず、利用者の動機づけや能力に責任を転嫁している理学療法士は利己的ではないでしょうか。あるいは、自分の知らない、あるいは望まない考え方や治療法を実践している部下・同僚・上司をやみくもに否定していませんか。利用者が望ましい方向に変化することを中心に考えるべきであり、自分が実践してほしくない、好まないなど「自分本位」の振る舞いは、自分の属しているコミュニティの文化・風紀を乱している場合があります。「自分本位」に気づいていない振る舞いは醜いものです。また、他職種との会議や交渉において、理学療法士の利益を得たいばかりに、ある

いは、不利益を減じたいがために、上手く話がまとまらなかったり、誤解を生じたり、はたまた、人間関係がこじれたりしていませんか。よもや、理学療法士同士でも同じことが起きていませんか。

問題の根源は、「利己的」「自分本位」「部分最適」にあります。解決の突破口は、先に利益を求めるのではなく、相手や回りに利益を与えて、自分に利益を得るという「利他的」「利用者本位」「全体最適」の思想です。

会員一人一人の共感・尊敬の念・利他精神・誠実さで構成されるヒューマニズムと人間の多様性に対する感受性と寛容性を求めます。

平成25年度 茨城県理学療法士会・茨城県理学療法士連盟 合同 忘年会のお知らせ

紅葉の候 皆様におかれましてはますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、今年も忘年会シーズンがやってまいりました。今年は茨城県理学療法士連盟と合同の忘年会となります。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成25年12月15日（日）

時間：16:30～18:30（16:00より受付開始）※茨城県理学療法士連盟主催の研修会後開始予定です。

研修の終了時間により多少の時間の変動があることをご了承ください。

場所：ホテルレイクビュー水戸（水戸駅南口より徒歩3分）

住所：茨城県水戸市宮町1-6-1 電話：029-224-2727

URL：<http://www.hotellakeviewmito.com/>

参加費：4,000～5,000円程度（飲み放題）

その他：無料駐車場（240台）完備。

ホテル宿泊希望の場合には、各自でホテルへお申してください。忘年会参加の旨を伝えると、割引料金（シングル1泊朝食付7,000円～）で宿泊可能です。満室の場合もございますので、早めの予約をお願い致します。

申込方法：E-mailでお申し込みください ①施設名 ②参加者名（フルネーム）を明記の上、できる限り所属施設でまとめて、下記メールアドレスへ申してください。

申込先：iba-kousei08@pt-ibaraki.jp

申込締切：平成25年12月1日（日）17:00まで

注）申込後のキャンセルは下記E-mailまでご連絡ください。なお、忘年会前日12:00以降は、キャンセル料を徴収させていただく場合がございます。ご注意ください。

注）料理注文の都合上、できるだけ事前の申込をお願い致します。当日参加も可能ですが、料理に不備が出てしまう可能性がありますのでご了承ください。

お問い合わせ：

厚生部長 青木葉尚子

笠間市医師会訪問看護ステーションふきのとう

電話：0296-72-9966

E-mail：iba-kousei08@pt-ibaraki.jp

第5回茨城県理学療法士連盟定期総会 平成25年度茨城県理学療法士連盟研修会 開催のご案内

茨城県理学療法士連盟 会長 佐藤弘行

仲秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。当連盟の業務運営について、平素からご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、茨城県理学療法士連盟総会・研修会を下記のとおり開催いたしますことをここにご通知いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

1. 日時
平成25年12月15日(日)
総会 13:30~14:00(受付; 13:00~)
研修会 14:30~16:00(受付; 14:00~)
2. 場所
ホテルレイクビュー水戸 飛天 URL: <http://www.hotellakeviewmito.com/>
TEL 029-224-2727 FAX 029-225-0737
3. 総会議題 (1) 平成25年度事業・収支決算報告
(2) 平成26年度事業計画・収支予算案審議
(3) その他
4. 研修会
「茨城県地域ケアシステムの再構築について」(仮題)
講師 茨城県保健福祉部 当該事業担当者(未定)
5. その他
16時30分~士会忘年会(連盟共催)が開催されます。別途案内をご確認ください。
主催 茨城県理学療法士連盟 共催 公益社団法人茨城県理学療法士会
【お問い合わせ先】
茨城県理学療法士連盟 事務局長 高田祐
〒300-0032 土浦市湖北2-10-35 アール医療福祉専門学校理学療法学科
TEL 029-824-7611 FAX 029-823-5155
E-mail y-takata@tib-r.co.jp

E-mail y-takata@tib-r.co.jp FAX 029-823-5155

アール医療福祉専門学校 高田祐 宛(12月9日(月)締切)

連盟総会・連盟研修会・士会忘年会 参加申込書

職場名	氏名	連盟総会	連盟研修会	士会忘年会	備考
		出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席	
		出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席	
		出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席	
		出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席	
		出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席	

2.各種事業報告

北茨城地域自立支援センターがJPTA ニュースの取材を受けました！

会報編集部長 森田英隆（いちほら病院）

10月18日（金）に「北茨城地域自立支援センター」がJPTA ニュースの連載企画である「地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割」に掲載されるための取材を受けました。

（公社）日本理学療法士協会事務局広報課の西村佳代子さんが取材に訪れ、まずはアール医療福祉専門学校をお借りして、斉藤秀之会長、高橋晃弘理事・広報局長が打合とインタビューを受けました。その後、北茨城市内では海風を受け若干肌寒い中、センターの視察と、北茨城市立総合病院理学療法士の高木和宏さんへのインタビューの後、北茨城市役所に移動し地域包括支援センター主任ケアマネジャーの鈴木京子さんにセンターについてお話を伺いました。その後、水戸市の本会事務所に移動し、北茨城地域自立支援センター職員として活動されている理学療法士の鈴木和江さんがインタビューを受けました。

北茨城市内のリハビリテーションの現状や理学療法士の役割、北茨城地域自立支援センターの活動や展望など、詳細についてはJPTA ニュース 12月号に掲載される予定です。本会の事業である北茨城地域自立支援センターの運営に関して広く全国に広報されますので、皆様、ぜひJPTA ニュース 12月号をご一読下さい。



山口かずゆき全国後援会茨城県総括会議

茨城県理学療法士会政治参加検討特別委員長／茨城県理学療法士連盟事務局次長
国谷伸一（立川記念病院）



日時 平成25年9月6日（金）18：00～20：00
場所 茨城県理学療法士会事務所（茨城県保健衛生会館内）
主催 山口かずゆき全国後援会茨城県事務所

出席者 岩崎ST士会事務局長、大曾根士会副会長・リハ3士会事務局長、大場OT士会長、金子士会事務局長、草野ST士会長、国谷士会政治参加検討特別委員長、佐藤(尚)後援会県幹事、連盟副会長、佐藤(弘)連盟会長・リハ3士会会長、関口後援会県事務局長、高田後援会県総務局長・連盟事務局長、高橋後援会県央地区長、長谷川後援会県広報局長、平田後援会県北地区長、山口参議院議員、(計：14名)、五十音順

内容 山口かずゆき全国後援会茨城県幹事の佐藤尚男氏、山口かずゆき氏の挨拶より開会した。次に、山口かずゆき全国後援会茨城県事務局長より全国後援会茨城県報告があった。茨城県の全国後援会の会員数は約350名となった。主な活動としては、山口かずゆき氏に来県していただき、後援会入会活動、茨城ラウンドや囲む会、養成校での講演など精力的に行うことができた。その他、後援会ニュース・チラシ等の作成・配布をし、県士会会員に向けての広報活動を実施した。また、リハ3士会が一体となって取り組むことができた。高田全国後援会茨城県総務局長・茨城県理学療法士連盟事務局長より各士会や地域別投票数、今後の課題、取り組みについて報告があった。今後の活動としては、後援会の組織拡大・強化、与党PT候補者擁立と後援会の設立などが挙げられた。その他の感想・反省としては、連盟と士会の活動のすみわけ、選挙に対する浸透の仕方の見直し、若い療法士への教育などの具体的方策検討が必要であると意見された。

平成 25 年度 研修会報告

	テーマ	講師	参加者
<u>9月8日</u>	<u>会場：茨城県鹿行生涯学習センター</u> <u>ー 茨城県女性プラザ</u>		
第15回	運動器疾患の理学療法	橋本貴幸 先生（土浦協同病院）	109名
第16回	内部障害の理学療法	中川義嗣 先生（水戸協同病院）	114名
第17回	臨床実習指導方法論	浅野信一 先生（つくばセントラル病院）	66名
第18回	国際社会と理学療法	ジャンチャンキュ 先生 (アール医療福祉専門学校)	25名
<u>10月6日</u>	<u>会場：茨城県総合福祉会館</u>		
第19回	統計方法論	永井智 先生（つくば国際大学）	79名
第20回	理学療法の研究方法論	斉藤秀之 先生（つくば記念病院）	43名
第21回	地域リハビリテーション	大田仁史 先生（茨城県立健康プラザ）	34名



岡村雅宏（いちほら病院）

第15回の研修会では、橋本貴幸先生より運動器疾患について、特に股関節、膝関節を中心に講義していただきました。

運動器疾患の術後治療について、関節可動域改善、筋力向上、バランス能力の向上を図るといった大枠の目標がありますが、まずは当たり前のことが当たり前に治療を提供できていることが大事であるとおっしゃっていました。特に印象に残ったのが浮腫管理についてです。TKA等の術後早期において、特に浮腫の管理が重要で、その後の可動域や筋、軟部組織等の柔軟性に大きく影響します。そのような患者様に対し、まずは自分が運動療法を提供する前に、前もって浮腫管理を行っておくことで、効果の高い運動療法

法が提供でき、患者様の負担も軽減できるとのことでした。

また、股関節の代表的な術式であるTHAにおいては、リスクを考え、脱臼肢位に意識が向いてしまいがちになりますが、安全な肢位を理解し、内転や内旋、伸展などの可動域確保が歩容改善、ADL向上に重要であると学ぶことが出来ました。

運動器疾患の患者様の治療に携わる機会が多い私にとって、大変有意義な講義で、ぜひとも今後の治療に活かしていきたいと思いました。



かけをつくれるように、事前情報や経過を捉え個々に合った運動処方をしていければと思います。

傳田理絵（茨城西南医療センター病院）

第16回研修会では、内部疾患の病態連関や運動処方、リスク管理などについて講義して頂きました。病歴・生活歴や所見から読み取るべき情報を病態と関連づけながら示していただき、リスク層別化や運動療法時のモニタリングについてなど臨床の場ですぐに実践できることを学びました。また、運動療法がもたらす効果や運動耐容能が改善するメカニズムについて説明していただき、運動療法の必要性を改めて実感することができました。

安静臥床による心肺機能低下がADLを阻害させ、努力的な動作から意欲低下につながり、更に臥床傾向となるケースが多いかと思えます。適切な負荷量や頻度の見極めは難しいですが、自分たちの介入がこの悪循環を脱出するき



竹内一未（いちほら病院）

第17回の研修会では、臨床実習指導方法論について、つくばセントラル病院の浅野信一先生より講義して頂きました。

今年の春から働き始めた私にとって、臨床実習の指導というのはまだ先の事に感じておりましたが、「学生にとっての良きモデルは新人理学療法士、学生に近い人からの学びの影響は大きい。教える為には自ら学んでいくことが必要。」というお言葉が大変印象的でした。

現在私の職場にも学生が臨床実習に来ており、実際に治療の見学に入って頂くことも多々あります。今年の春から働き始めた私が何を学生に伝えることができるのかと考え

たこともありました。講義の中で、実習指導者になるための第一歩は自分の臨床をわかりやすく整理すること。指導者役割の1つは共同学習者である。などのお話があり、まずは自分の考えを整理して伝え、自分の知識では間に合わない内容は共に学んでいく姿勢も大切であると学びました。

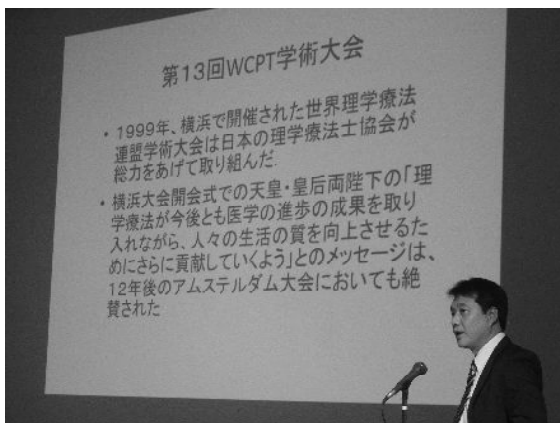
今後学生を指導する立場となったとき、今回の講義内容を思い返し、自らも成長できる指導者になりたいと感じました。

中島和輝（いちほら病院）

第18回研修会は「国際社会と理学療法」というテーマで、世界理学療法連盟（WCPT）の活動やJICAのボランティア活動についてご講義頂きました。

ジャンチャンキュ先生が実行委員として参加された昨年の日韓合同カンファレンスや、ボランティアとして参加された1988年のソウル五輪など、先生自身の国際活動の経験談もお聞きすることができ、国際活動が少し身近なものに感じることができました。私自身英語を話すことが苦手で、コミュニケーション面に不安を感じてしまいましたが、先生の「伝えようとする熱意と身振り手振りがあれば、ちゃんと伝わる」という言葉がとても印象的でした。

2020年に東京五輪の開催が決まりましたが、このよう



な国際的な場で理学療法士として活動してみたいと思いました。



武藤勇氣 (いちほら病院)

第 19 回研修会は、「統計方法論」というテーマで、つくば国際大学の永井智先生にご講演いただきました。

理学療法における実験研究・調査研究のデータ解析方法、また具体的な統計的解析手法の手順を、同じ理学療法士としての立場から分かりやすく指導して頂きました。自分が研究をする時だけではなく、臨床で分からない点などを文献で調べる際に、データの数字を理解するためにも知るべきことであると学びました。

統計の基礎となるデータの尺度や正規分布、母集団や標本などについて具体的な例を交えながら説明して頂き、臨床における患者様をイメージしながら学ぶことができました。

治療のエビデンスを調べる際のみならず、自身が行おうとしている研究の参考とするために学術論文を読む際は、論文の中に示されている結果を吟味・理解する必要があり、統計手法に関する基礎知識が必要だと学びました。また、統計は「やっているうちに慣れるもの」とのことで、先輩方の研究をなぞる形で良いので、まずやってみることが大切だと教わりました。臨床家として、目の前の患者様により良いリハビリテーションを提供するために、今後はより統計に触れていきたいと思いました。



下重絢香 (いちほら病院)

今回第 20 回研修会で研究方法論の講義を受講し、理学療法士が研究を行う意義から考えられました。理学療法士自身が研究を行う意味を内山 (2006) は、「研究によって得られた成果を固有の領域に應用する側面とともに、研究を通して身につけられる問題解決能力や論理性・表現能力の向上によって、日ごろの臨床や教育に貢献するため」とまとめている。受講した内容より、臨床で最高の理学療法を提供・治療効果を示すためには、新しい情報を積極的に収集し、知識や技術を常にリニューアルする努力と、自ら新たな知見を生産し、理学療法学を前進させる努力をしないとしないということを学んだ。

理学療法における治療効果の判定は、患者と治療者の間にとどまらず、全くの第三者に治療結果を客観的に判断してもらうことが必要である。そのために、理学療法に関係する情報を積極的に公開し、多くの目から評価を受けることが重要である。また理学療法研究は、研究介入でなければ意味がない訳でなく 1 症例の経過を詳しく観察する症例研究や文献をじっくり読む文献研究も臨床研究に変わりはないとの考えを講義でご提示いただいた。

自分を含め、経験年数が浅い理学療法士も、まとまった臨床研究ができないとしても 1 症例の症例報告が臨床研究の一つの形であるということを確認し、症例ごとに丁寧に検証することが大切であると考えた。目の前にいる患者に対して少しでも良質な理学療法を提供しようとする意識さえあれば、理学療法研究に対する考え方も肯定的意思をもって取り組める事を学んだ。

本澤祐一（鹿島病院）

第21回新人教育プログラムは『地域リハビリテーション～ステージでハビリスを考える～』と題して、茨城県立健康プラザの大田仁史先生を講師として迎え開催されました。

演題にあるハビリスとは、『人間らしい』とういことを意味しており、ステージに合わせてみると、急性期、回復期では人間らしい治療を受ける、生活期、維持期では人間らしく暮らす、介護期では人間らしく介護される、終末期では人間らしい姿で終わるという考え方です。このハビリスの思想を貫き、患者様が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、生き生きとした生活が送れるというような地域リハビリテーションで生活できるよ

うに私たちがサポートすることが大切であるとのことでした。患者様が地域に帰られるときには、患者様及びその御家族と地域・社会との間には、物理的、制度的、文化・情報、意識(心)といった壁があるため、これらを取り除き地域に帰すことも、私たち理学療法士が考えていくことが必要であるとのことでした。



3. 各部局からのお知らせ

平成25年度第2回業務執行理事会 議事要旨

大地寛

日時：平成25年9月23日（月）17：00～19：30

会場：茨城県理学療法士会 水戸事務所（茨城県保健衛生会館1階）

出席：斉藤秀之会長、大曾根賢一・沼尻一哉・金子哲副会長、大地寛常任理事・中山陽介財務部長、平田清次総務部次長、近岡由美子総務部員

【報告・審議事項】

1. 斉藤秀之会長

- (1) 平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業について：受託決定により事業・予算計画の補正を理事会に提出。
- (2) 会長業務の在籍出向化：会長勤務先（筑波記念病院）から日本理学療法士協会への出向で調整を行っている。合わせて本会業務も週に1、2回程度執務する予定。
- (3) 茨城県臨床工学技師会と意見交換会（8/26）：茨城県臨床工学技師会より呼吸療法セミナーでの講師派遣の依頼あり。今後呼吸療法認定士の単位認定できるセミナーにしていくため、本会と共同でできるよう調整する。また他の領域でも共同事業ができるか継続的に検討する。

2. 大曾根賢一副会長

- (1) 山口かずゆき後援会総括会議（9/6）：後援会主催で、茨城県理学療法士連盟、茨城県リハ3士会連絡協議会、茨城県作業療法士会、茨城県言語聴覚士会、本会、山口かずゆき参議院議員が参加。山口議員より選挙当選と政策の報告があった。
- (2) 訪問リハサポート事業：茨城県訪問リハビリテーション協議会にて標準評価を作成している。本会訪問リハサポート事業と共同して、データ入力、収集・分析のできるアプリケーションの開発および運用に向けて調整を行う。

3. 沼尻一哉副会長

- (1) 取手・龍ヶ崎ブロック説明会（8/30）：約50名参加。ブロックの取りまとめは取手北相馬保健医療センター医師会病院松井弘子氏となった。
- (2) 県北ブロック説明会（11/26または28）：県北ブロック（ひたちなか市、常陸太田市、日立市等）の説明会を実施する予定。ブロック取りまとめは日立製作所ひたちなか総合病院佐藤誠氏の予定。

4. 金子哲副会長

- (1) 在宅医療・介護連携拠点事業北茨城在宅医療・介護連携推進協議会運営要綱：「土台づくり」事業、「仕組みづくり」事業を実施する。「土台づくり」事業は北茨城在宅医療・介護連携推進協議会にて検討する。「仕組みづくり」事業は北茨城地域自立支援センターを中心に大曾根副会長統括にて推進する。

5. 大地寛常任理事

- (1) 事業報告マニュアル、事業報告書式に関する件：事業報告方法を変更する。事業報告書を新設、事業報告マニュアルに沿って実施する。事業の進捗は事務所で管理、全体の事業報告書作成を行う。平成25年10月1日から運用を開始する。

<事務局より>

事務局長 金子哲

会員名簿の取り扱いについて（注意喚起）

平素より本会活動に御支援・御協力を賜り誠にありがとうございます。

さて 最近全国的に「悪質なセールスと思われる電話が職場の個人宛に掛かってくる。」という事象が数多く見受けられております。

つきましては、会員の皆様におかれましては、下記を厳守していただき、個人情報漏洩等が無いよう、今一度 周知徹底をよろしくお願い申し上げます。

1. 会員名簿の取扱には十分注意し、部外者への開示、提供を行わないこと
2. 不審な業者からの電話には、十分注意すること
3. 会員名簿に限らず、名簿の業者への転売、オークション等への出品は行わないこと

＜庶務部より＞

庶務部 高橋千晶（水戸済生会総合病院）

※会員の皆様へお願い

入退会・復会・休会および異動の際は、速やかに日本理学療法士協会HP・マイページでの情報の変更をお願いいたします。住所変更や改姓の場合も同様をお願いいたします。

会員の皆様におかれましては、再度日本理学療法士協会HP・マイページに入力されている会員情報のご確認をお願いいたします。

2.学術誌、学会誌の公開について

会員に情報公開として、関連団体より届いている学術誌・学会誌および各都道府県士会のインフォメーションを閲覧できるようになりました。

日時は限定されておりますが、ご利用ください。

公開資料	：学術誌・学会誌および各都道府県士会のインフォメーション
公開時間	：火・木（祝日除く）14:30～16:30
公開場所	：茨城県理学療法士会水戸事務所 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号 茨城県保健衛生会館内

＜2013年8月1日～2013年9月30日届いている学術誌・学会誌＞
愛知理学療法白書、理学療法学 VOL40、

＜＜重要＞＞紙申請の廃止について

協会のシステム整備によって、各種申請がWEBから実施できるようになり、全体の申請の7割がWEBから申請が行われている現状があります。そこで、士会業務の軽減・迅速化、経費の削減のため等、紙申請を廃止することが、日本理学療法士協会理事会で承認されました。詳細は以下の通りになります。

【廃止される紙申請の内訳】

入会申請、異動申請、休会申請、退会申請、復会申請

【紙申請廃止日】

平成25年12月末日

【WEB申請できない方への対応】

廃止日（平成25年12月）以降、WEBの環境がないなど、紙面申請しかできない会員の対応については、日本理学療法士協会事務局へご連絡いただき、協会から用紙を個別にお送りします。

＜卒前教育部より＞

卒前教育部 浅野信一（つくばセントラル病院）

＜平成25年度茨城県臨床実習指導者研修会のお知らせ＞

茨城県理学療法士会主催による臨床実習指導者研修会を開催いたします。臨床実習指導者としてどのようなことに留意すべきか。講義、そしてワークショップでの参加者同士の意見交換を通して得るものは大きいと思います。臨床実習を実施している病院・施設の方は奮ってご参加ください。

日 時：平成26年3月2日（日）9：00～16：45（講義Ⅰ9：00～10：30 講義Ⅱ10：40～12：10 講義Ⅲ13：10～14：40 ワークショップ14：50～16：30）

講義Ⅰ講師 浅野信一先生（つくばセントラル病院）

講義Ⅱ講師 大橋ゆかり先生（茨城県立医療大学）

講義Ⅲ講師 斉藤秀之先生（筑波記念病院）

ワークショップ：「臨床実習指導上の留意点」討論・発表

会場：茨城県立医療大学 125・126 講義室

定員：40名

参加費：5000円（公益社団法人茨城県理学療法士会会員 3000円）

ポイント認定：専門認定に関わるポイント 10ポイント

※修了証書を発行いたします。

※新人教育プログラム未修了の方でもお申込みいただけますがポイント認定対象外となります。

申込方法：申込方法：E-mail（携帯メール不可）にて、①氏名（ふりがな）②所属施設・郵便番号・住所・電話番号・E-mail アドレス（送信アドレスとは別の場合）、③経験年数（H25年度で何年目か）、④会員番号をご記入のうえ下記までお送り下さい。件名は「茨城県士会臨床実習指導者研修会参加申込」として下さい。申し込み後、確認連絡がない場合はお手数ですが必ずお問い合わせ下さい。

申込先：茨城県理学療法士会卒前教育部 浅野信一 E-mail：sinichi.asano@central.or.jp

問合せ先：つくばセントラル病院 浅野まで 029-871-6881（リハセンター直）

〈公益事業推進部より〉

介護予防キャラバン事業報告

公益事業推進部長 村田康成（介護老人保健施設サン・テレーズ）

『古河ふれあい広場 2013』

古河・坂東地区会員 齊藤大樹（茨城西南医療センター病院）

9月21日古河市ネブルパークにて開かれた「古河ふれあい広場 2013」にて本会公益事業の一環として行われている介護予防キャラバンに参加しました。

当日は天候にも恵まれ晴天の中、1日で120人ほどの参加者に訪れていただき、盛大に行うことができました。また、当日は茨城県臨床検査技師会の骨密度検査と合同で行ったため、参加者の健康状態に対し、より良いフィードバックを行うことができたと考えます。

また、体力測定に加え、リハビリ相談も行い、日頃の悩みや疑問を聴取する中で地域の方々の健康への意識の高さをうかがえることができました。

日本は現在、超高齢社会となっており、年々高齢化の波が押し寄せています。健康でいきいきと生活を送っていくためにも生活の質の向上を目指し、地域の方々の健康に対する意識を向上していくことが大切であると考えます。今回のような体力測定にて自分の身体状況を知っていただくことで転倒を未然に防ぎ、怪我を防止する一助になればと願います。



『健康づくりキャンペーン』

常陸太田・ひたちなか地区会員 黒澤由佳（日立製作所ひたちなか総合病院）

9月21日ひたちなか市（ニューポートひたちなかファッションクルーズ）で行われた茨城県主催の「健康づくりキャンペーン」に、本会公益事業である介護予防キャラバンのスタッフとして初めて参加しました。内容としては、握力・片脚立位保持時間・長座体前屈を測定し、リハビリの相談を受けながら、健康づくりに対するアドバイスをさせていただきました。総勢160名の方々に対し測定を行い、リハビリ相談をする方は8名いらっしゃいました。60歳以上の方を対象としていましたが、様々な世代

の方が参加してくださり、病院での勤務では経験できない貴重な時間を過ごすことができました。

地域の方々は、普段から運動をしている健康意識の高い方もいれば、運動したいが機会がない方、運動の習慣が全くない方など、様々でした。普段の病院の勤務では、病気や骨折で入院している方を受け持っていますが、今回の参加を通して、入院してから治療するのではなく、疾病の発生そのものを防ぐ「一次予防」の大切さを感じました。そのためにも、このような事業を行い、地域の皆さまの健康意識を高めることは必要だと思えます。これからも、このような機会があれば、積極的に参加していきたいと思いました。



＜地域医療福祉推進部より＞

（公社）茨城県看護協会「まちの保健室」との共同保健活動報告

地域医療福祉推進部長 所圭吾

茨城県看護協会「まちの保健室」との事業は、地区会員の先生方と協力して地域に根差した活動をしています。昨年度よりも充実させ、年複数回同じ会場・対象者で行い、定期的なチェックと共にその身体の変化もお伝えできる試みも行っております。本事業を含め、県内各地の事業におきましても、各地区の会員の皆様のご支援・ご協力を今後もよろしくお願いいたします。

●平成 25 年度第 3 回（常陸大宮ショッピングセンター「ピサーロ」）

期日：平成 25 年 8 月 24 日（土）13:30～16:30

場所：常陸大宮ショッピングセンター「ピサーロ」 1F センターコート

内容：体力測定・リハビリ相談

担当：社会職能局：石井利幸 氏、佐藤誠 氏、所圭吾 氏、山梨忍 氏

大宮・ひたちなか地区会員：愛知裕子 氏、白土和希 氏

参加者：体力測定 39 名 リハビリ相談 7 名



<まちの保健室事業に参加して>

地域医療福祉推進部 佐藤誠（日立製作所ひたちなか総合病院）

8/24（土）に常陸大宮ショッピングセンター「ピサーロ」で看護協会との共同でまちの保健室にスタッフとして参加し、地区会員の先生方と一緒に体力測定とリハビリ相談をさせていただきました。体力測定をされた参加者は39名、そのうち相談が7名でした。私は、地域リハビリにとっても興味があり、このような事業に参加できたことは、とても貴重な経験になりました。今回、この事業に初めて参加したのですが、体力測定マニュアルが事前に配布されていたため、比較的スムーズに体力測定をすることができました。今後も地域へ貢献できるよう、積極的に参加していきたいと思います。

●平成25年度第4回（イオン内原）

期日：平成25年8月25日（日）13:30～16:30

場所：イオンモール水戸内原 2F ショップ「ROU」前

内容：体力測定・リハビリ相談

担当：社会機能局：井上愛理氏、岩崎円氏、所圭吾氏、渡邊聡美氏

水戸地区会員：小笠原祐輔氏、笠原鉄聡氏、小出彰太氏、鈴木紀美恵氏、中村功氏

参加者：体力測定64名 リハビリ相談5名



<まちの保健室に参加して>

地域医療福祉推進部 渡邊聡美（ともへ訪問看護ステーション）

当日は、体力測定およびその結果説明とリハビリ相談のコーナーを設け、60名を超える方のご参加をいただきました。イオン内原での活動は、幅広い年齢層の方に来ていただけるのが大きな特徴ですが、今回も健康に不安を抱えた方や現役で仕事をしている方など、様々な事情を抱えた方がいらっしゃいました。「これを機に、今日からストレッチ始めてみます」「いい結果が出せるように頑張るから、また来年もやってね」等の声が聞かれ、本事業の存在を認知していただき、また健康に目を向けていただくきっかけになったのではないかと感じました。今年度は、昨年までと異なり地区ブロック会員の方にも参加していただき、事業を行うことができます。理学療法士が地域で求められている役割を知る良い機会になるかと思っておりますので、今後ともたくさんの会員の方々に経験していただければと思います。

●平成25年度第5回（水戸地区）

期日：平成25年10月10日（木）11:00～12:00

場所：茨城県保健衛生会館

内容：体力測定・リハビリ相談

担当：社会機能局：渡邊勸氏

水戸地区会員：竹市有希氏、古田英二郎氏、山田達也氏、和田祥平氏

参加者：21名（シルバーリハビリ体操教室参加者対象）

<まちの保健室事業に参加して>

和田祥平（石岡循環器科脳神経外科病院）

茨城県保健衛生会館での「まちの保健室」との共同保健活動に、地区会員として協力、参加させて頂きました。シルバーリハビリ体操教室の後、バイタル・体脂肪測定、体力測定（握力・片脚立位・前後反復足踏み）、リハビリ相談を実施しました。元気な高齢者が多く、雰囲気も和気あいあいとしており私も楽しみながら参加させて頂きました。しかし、元気に見えても様々な身体に関する悩みを持っている事を知り、相談に応じた後の「元気が出た、ありがとう！」と言ってくださった笑顔は大変嬉しくなるとともに、地域における理学療法士のニーズの高さを感じました。普段病院や施設で働いている私にとって、地域における公益事業への参加は大変興味深いものとなり、病院、施設の枠組みを超えた理学療法士の役割を再認識できる機会となりました。

（公社）茨城県看護協会・北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会との共同介護予防事業報告

地域医療福祉推進部長 所圭吾

北茨城市での共同介護予防事業を（通算 4 回目）を、下記の通り開催いたしました。昨年 10 月の第 3 回からちょうど 1 年後の開催で、継続した支援を中心に行いました。平日開催のうえ短時間で多くの方々に対する事業でしたが、一同協力して終了することができました。今後も他団体や自治体と連携を深め、会員同士で協力して進めていきたいと思っております。お世話になりました北茨城市・茨城県看護協会・シルバーリハビリ体操指導士会・地域会員・社会職能局員・そして士会員の皆様に、感謝申し上げます。

日時：平成 25 年 10 月 8 日（火）13：30～15：30

場所：北茨城市 市民ふれあいセンター

対象：北茨城市シルバーリハビリ体操指導士会が実施する体操教室の参加者

内容：看護師による健康相談・血圧測定・血管年齢測定、指導士によるシルバーリハビリ体操実技
理学療法士による体力測定及びカウンセリング・理学療法相談・1 年後の支援

担当：社会職能局：石井利幸 氏、石塚晴美 氏、遠藤卓也 氏、高木和宏 氏、高橋一史 氏、
所圭吾 氏、山梨忍 氏

県北地区会員：赤津雄也 氏、栗城身和子 氏、鈴木和江 氏、田所隆洋 氏、松本幸代 氏

参加者：59 名



<北茨城市事業を統括して>

地域医療福祉推進部次長 石塚晴美（茨城西南医療センター病院）

平成 25 年 10 月 8 日に北茨城市市民ふれあいセンターにおいて、表記の介護予防事業を行いました。内容は同地域で日頃からシルバーリハビリ体操を実施している方を対象に体力測定（握力、長座位前屈、片脚立位、最大歩行）及び指導を実施してきました。参加者は 59 名で、皆さま健康に対する意識が非常に高く、理学療法士からのアドバイスに真剣に耳を傾けていらっしゃいました。また、今回は社会職能局員が 7 名、地区会員から 5 名と近隣の病院からも沢山のスタッフの協力をいただきました。ご協力をいただきました先生方、本当にありがとうございました。今回の事業を通し参加者や事業を行うスタッフが互いに知り合いだったり、地元の話話が共有できるなど、地元の会員の協力が参加者にとっても非常に望ましいことを改めて感じさせられました。今後も各地域で介護予防を企画しております、地元の皆様ぜひご協力ください！！

＜その他の事業＞

●茨城県福祉サービス振興会主催研修会講師派遣（茨城県総合福祉会館）

○介護技術・テーマ別研修 「トランスファー（移動・移乗）介助」

派遣：平成 25 年 8 月 21 日（水）渡邊勸 氏、鈴木和江 氏

○介護技術・テーマ別研修 「リハビリ的介護のポイントと職業病対策」

派遣：平成 25 年 9 月 18 日（水）所圭吾 氏、鈴木和江 氏

○実技・実習講座 「自宅でできるリハビリ体操」

派遣：平成 25 年 10 月 18 日（金）鈴木和江 氏

＜活動予定＞

第 38 回水戸市産業祭で茨城県看護協会「まちの保健室」との共同事業を実施します！

地域医療福祉推進部長 所 圭吾

昨年度に続き、水戸地区で開催される第 38 回水戸市産業祭でも共同事業を実施いたします。前回同様、水戸地区会員にご協力をいただき、実施する予定です。ぜひ今後も地域活動に、会員の皆様の更なるお力添えをいただければ幸いです。

イベント：第 38 回水戸市産業祭

日 時：平成 25 年 11 月 16 日（土）・17 日（日） 9:00～16:00 頃

場 所：水戸市総合運動公園体育館

内 容：まちの保健室・救護所・本会事業（未定）

＜理学療法啓発部より＞

理学療法・作業療法・言語聴覚療法見学会報告

理学療法啓発部長 峯岸忍

8 月 2 日から 8 月 30 日の間に県内の 38 施設で高校生を対象に理学療法・作業療法・言語聴覚療法の見学会を実施致しました。

263 名の予定でしたが、247 名の参加がありました。

協力して下さいました施設・会員の皆様に感謝申し上げます。

参加者からは、「理学療法などのリハビリは考える事が大事なのだ」という話を聞いたこと

「実際にリハビリをしている理学療法士さんを見学できて話を聞いたのが印象に残っている」「リハビリの技術だけでなく、患者さんとのコミュニケーションも大切であり、みんなで良い雰囲気をつくりあげている所が印象に残った」との声がありました。

また、本企画が茨城新聞に掲載されました。

次年度以降も企画しておりますので、宜しくお願い致します。



＜表彰委員会より＞

【学術賞候補者公募のお知らせ】

今年度の学術賞受賞者を、会員の皆様より募集いたします。下記の条件を満たしている方は、表彰委員会までご連絡ください。内容審査のうえ、理事会で決定後、県土会事業報告総会にて表彰されます。なお上位表彰を受けられた方は、この賞には該当しませんのでご了承願います。

学術賞：学術、研究面で著しく貢献のあったもの



茨城県士会在籍中、著書・論文・学会発表（筆頭著者・演者）等 10編以上

【応募方法】

申請書と裏付けとなる資料（コピー可）を郵送にて提出
提出いただいた資料は返却いたしませんのでご了承ください

【締め切り】

平成26年1月31日（消印有効）

【応募先・問い合わせ先】

〒302-0022 茨城県取手市本郷2-1-1
JAとりで総合医療センター リハビリテーション部 前田信道
Tel 0297-74-5551

（社）茨城県理学療法士会 学術賞 申請書

平成 年 月 日

公益社団法人 茨城県理学療法士会表彰委員長 殿

所属：

氏名：

印

「平成25年度 公益社団法人 茨城県理学療法士会学術賞」への応募について 公益社団法人 茨城県理学療法士会表彰規定に基づき裏付けとなる資料を添えて申請します。

	タイトル	掲載誌または学会名	発行年月または開催日
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

<会長報告>

1. 会長行動・事業等報告（8月20日～10月31日）

下記以外は所属施設および士会事務所にて従事

- 8月24日 回復期リハビリテーション病棟協会 第30回PTOTST 研修会（天満研修センター）
- 8月25日 専門領域研修会「糖尿病と足病変」（総合福祉会館）（欠席）
- 8月26日 茨城県臨床工学技士会と意見交換（大曾根副会長同行）（つくば市）
- 8月27日 つくば市介護認定審査会（つくば市役所）
- 8月30日 第1回茨城県介護予防推進委員会（県庁）
- 8月30日 取手・龍ヶ崎地区ブロック説明会・意見交換会（沼尻副会長同行）（取手医師会病院）
- 8月31日 水戸保健医療圏 地域リハビリテーション従事者研修会（水戸メディカルカレッジ）
- 9月 3日 平成25年度茨城介護労働懇談会（金子副会長同行）（茨城労働局）
- 9月 4日 平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業ヒアリング（大曾根副会長・他2名同行）（県庁）
- 9月 6日 協会生涯学習機構企画・研修小委員会担当理事と打合せ（田町 CR）
- 9月 8日 協会理学療法士講習会基本編・理論（林 一ツ）（県保健衛生会館）
- 9月 8日 第16～19回新人教育プログラム（茨城県鹿行生涯学習センター）（欠席）
- 9月10日 県保健福祉部厚生総務課打合せ（士会事務所）
- 9月10日 つくば市介護認定審査会（つくば市役所）
- 9月11日 茨城県言語聴覚士会長面会および水戸メディカルカレッジ理学療法学科教員と臨床実習指導に関する意見交換（水戸メディカルカレッジ）
- 9月12日 協会生涯学習機構認定制度委員会および検証・資料小委員会（田町 CR）
- 9月13日 平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業打合せ（水戸赤十字病院）
- 9月14日 協会認定理学療法士必須研修会（臨床教育） 講師（臨床福祉専門学校）
- 9月17日 つくば市障害者自立支援懇談会（つくば市役所）
- 9月20日 北茨城地区地域リハ・ステーション研修会 講師（北茨城市立総合病院）
- 9月21日 協会常任理事会・第5回業務執行理事会・第5回理事会・第4回理事懇談会（田町 CR）
- 9月22日 協会平成25年度全国都道府県理学療法士会事務局長会議（田町 CR）
- 9月23日 第2回業務執行理事会（士会事務所）
- 9月24日～29日 回復期リハビリテーション病棟協会 回復期セラピストマネジャーコース研修会（三田 NN）
- 9月27日 第1回茨城県地域ケアシステム再構築ワーキングチーム会議（県庁）
- 10月 2日 県庁厚生総務課打合せ（士会事務所）
- 10月 3日 平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業説明 北茨城地区医師会 荒川内科医院・瀧病院・訪問看護ステーションはんどはあと 訪問（北茨城市）
- 10月 3日 協会常任理事会（浜松）
- 10月 4日～5日 第48回日本理学療法士協会全国学術研修大会（浜松）
- 10月 5日 協会第2回生涯学習業務執行委員会（浜松）
- 10月 6日 第20～22回新人教育プログラム 第21回講師（県総合福祉会館）
- 10月 8日 つくば市介護認定審査会（つくば市役所）
- 10月 9日 平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業説明 宇佐美歯科医院・松本薬研堂薬局・北茨城市社会福祉協議会訪問（北茨城市）
- 10月10日 つくば市障害福祉なんでも相談（つくば市役所）
- 10月10日 リハ医療関連団体協議会人材育成部門会議（田町 CR）
- 10月12日 茨城県介護・リハビリテーション施設研修会（つくば国際会議場）
- 10月13日 岩手県理学療法士会管理者研修会 講師（盛岡）
- 10月14日 仙台医健専門学校特別講義・被災地視察（仙台）
- 10月16日 第1回つくば市高齢者福祉推進会議（つくば市役所）（欠席）
- 10月16日 第1回北茨城市在宅医療・介護連携推進協議会（北茨城市）
- 10月18日 協会広報局からの北茨城地域自立支援センターに対する取材同行（北茨城・水戸）
- 10月18日 3士会連絡協議会会議（士会事務所）

- 10月19日 日本物理療法学会評議員会（神奈川県立大学）
- 10月20日 協会認定理学療法士（管理運営）必須研修会 講師（臨床福祉専門学校）
- 10月22日 つくば市介護認定審査会（つくば市役所）
- 10月24日 つくば市障害福祉なんでも相談（つくば市役所）
- 10月26日 協会常任理事会・第6回業務執行理事会・中間監査（田町 CR）
- 10月27日 協会第6回理事会・第5回理事懇談会（田町 CR）
- 10月27日 第26回いばらき医療福祉研究集会（つくば国際大学）
- 10月28日 茨城型地域包括ケアシステムおよび北茨城市在宅医療・介護連携事業等に関する士会役員等勉強会（士会事務所）
- 10月29日 第167回保健・医療・福祉に関する勉強会（筑波大学）
- 10月30日 茨城県シルバーリハビリ体操指導士養成10周年式典（笠松運動公園）
- 10月30日 第1回茨城県地域リハ支援体制連絡会議（県医療大）

2. 会長としての他団体委員会出席報告（8月20日～10月31日）

1. 第1回茨城県介護予防推進委員会

8月30日午後から茨城県庁にて開催されました。毎年2回開催されている市町村、地域包括支援センターおよびサービス事業所における介護予防事業に関する会議です。委員長は大田仁史氏（茨城県立健康プラザ管理者）、副委員長は大場正二氏（茨城県医師会常任理事）です。

2. 平成25年度茨城介護労働懇談会

9月3日午後から介護労働安定センターにて初めて開催されました。会開催の経緯などは <http://www.kaigo-center.or.jp/shibu/ibaraki/2013/005905.html> を参照ください。

3. 茨城県地域ケアシステム再構築ワーキングチーム会議

9月27日夕方から茨城県庁にて開催されました。今年度2回開催する予定の会議です。今年度までの県事業である地域リハ支援体制と地域ケアシステムを統合して茨城型地域包括ケアシステムの構築に向けた検討がなされました。県保健福祉部内の課が一同に介して、縦割りに横串を刺していこうとする意欲が感じられました。

4. 茨城県地域リハビリテーション支援体制連絡会議

10月30日夕方から茨城県立医療大学にて開催されました。今回はオブザーバーとして3士会長が参加しました。

4. 士会・協会主催研修会

DVD研修会開催予定一覧（平成25年10月20日現在）

*DVD研修会参加には事前申込みが必要となります。専用のFAX用紙でお申し込みください。

県西地区

<日時・開催会場一覧> 開始時間①18:30~②19:30~（1テーマ約60分）

テーマ	茨城西南医療センター病院	総和中央病院	古河病院
A-1 理学療法と倫理	開催終了		
A-2 協会組織と生涯学習システム		開催終了	
A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む）		開催終了	
A-4 人間関係および接遇（労働衛生含む）		開催終了	
A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）	開催終了		
B-2 クリニカルリーズニング			平成25年11月6日(水)①
B-3 統計方法論		平成26年3月6日(木)①	
B-4 症例報告・発表の仕方		平成25年12月5日(木)①	
C-4 高齢者の理学療法		平成25年12月5日(木)②	
C-5 地域リハビリテーション（生活環境支援含む）		平成26年3月6日(木)②	
D-1 社会の中の理学療法	平成26年1月14日(火)①		
D-2 生涯学習と理学療法の専門領域			平成25年11月6日(水)②
D-3 理学療法の研究手法論（EBPT含む）			平成25年11月6日(水)②
E-1 臨床実習指導方法論			平成26年2月5日(水)①
E-3 国際社会と理学療法			平成26年2月5日(水)②

テーマ	協和中央病院	城西病院	同樹会 結城病院
A-1 理学療法と倫理		開催終了	
A-2 協会組織と生涯学習システム		開催終了	
A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む）		開催終了	
A-4 人間関係および接遇（労働衛生含む）		開催終了	
A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）		開催終了	
B-2 クリニカルリーズニング	平成26年1月23日(木)①		
B-3 統計方法論			平成26年2月6日(木)①
B-4 症例報告・発表の仕方			平成25年11月6日(水)①
C-4 高齢者の理学療法			平成25年11月6日(水)②
C-5 地域リハビリテーション（生活環境支援含む）			平成26年2月6日(木)②
D-1 社会の中の理学療法			平成25年11月20日(水)①
D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	平成25年10月25日(金)①		
D-3 理学療法の研究手法論（EBPT含む）	平成26年1月23日(木)①		
E-1 臨床実習指導方法論	平成26年1月23日(木)②		
E-3 国際社会と理学療法	平成25年10月25日(金)②		

県南地区

＜日時・開催会場一覧＞ 開始時間①18：30～②19：30～（1テーマ約60分）

テーマ	筑波記念病院	牛尾病院	つくばセントラル病院
A-1 理学療法と倫理	開催終了	平成25年12月13日(金)①	
A-2 協会組織と生涯学習システム	開催終了	平成25年12月14日(土)①	
A-3 リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)	開催終了		
A-4 人間関係および接遇(労働衛生含む)	開催終了		平成25年12月2日(月)①
A-5 理学療法における関連法規(労働法含む)	開催終了	平成25年12月12日(木)①	
B-2 クリニカルリーズニング	開催終了		
B-3 統計方法論	平成25年11月21日(木)②		平成25年12月3日(火)①
B-4 症例報告・発表の仕方	平成25年11月8日(金)①	平成25年12月11日(水)①	
C-4 高齢者の理学療法	平成25年10月24日(木)①		平成25年12月4日(水)①
C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)	平成25年11月22日(金)②		
D-1 社会の中の理学療法	平成25年11月8日(金)②	平成25年12月10日(火)①	
D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	開催終了	平成25年12月9日(月)①	
D-3 理学療法の研究方法論(EBPT含む)	平成25年11月22日(金)①		平成25年12月5日(木)①
E-1 臨床実習指導方法論	平成25年11月15日(金)①		
E-3 国際社会と理学療法	平成25年11月21日(木)①		平成25年12月6日(金)①

県北地区

＜日時・開催会場一覧＞ 開始時間①18：30～②19：30～（1テーマ約60分）

テーマ	ひたち医療センター	志村大宮病院	やすらぎの丘温泉病院
A-1 理学療法と倫理		平成25年10月22日②	平成25年11月6日①
A-2 協会組織と生涯学習システム	平成25年11月27日(水)①		開催終了
A-3 リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)		平成25年10月22日①	
A-4 人間関係および接遇(労働衛生含む)		平成25年10月22日①	開催終了
A-5 理学療法における関連法規(労働法含む)			平成25年11月6日②
B-2 クリニカルリーズニング		平成25年10月25日①	平成25年11月20日②
B-3 統計方法論	平成25年11月27日(水)②	平成25年10月25日②	平成26年1月22日①
B-4 症例報告・発表の仕方			平成25年12月4日①
C-4 高齢者の理学療法	平成26年1月29日(水)①		
C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)			平成26年2月5日①
D-1 社会の中の理学療法			平成25年12月4日②
D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	平成26年1月29日(水)②	平成25年10月28日①	平成25年11月20日①
D-3 理学療法の研究方法論(EBPT含む)	平成26年3月12日(水)①		平成26年1月22日②
E-1 臨床実習指導方法論	平成26年3月12日(水)②		平成26年1月8日①
E-3 国際社会と理学療法			平成26年1月8日②

*都合により変更されることもございます。

*変更・追加開催が決定次第順次掲載致します。

以下の日時のDVD研修会は2つのテーマのうち、いずれか1つのみのテーマで事前申込み下さい。

・開催日時：平成25年10月22日(火)18：30～

・開催会場：志村大宮病院

A-3 リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)、A-4 人間関係及び接遇(労働衛生含む)

平成 25 年度 茨城県訪問リハビリテーション実務者研修会

全国各地において訪問リハビリテーションの充実を図るため、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本言語聴覚士協会の3協会と都道府県士会が一体となり、充実したサービス提供に向けた研修の取り組みが継続的に行なわれています。茨城県では、公益社団法人茨城県理学療法士会、一般社団法人茨城県作業療法士会、茨城県言語聴覚士会の共催のもと特定非営利活動法人茨城県訪問リハビリテーション協議会が主催となり、総論から現場での実践論まで、高名な講師陣を招き多職種での研修を開催致します。日頃の悩みや思うところを意見交換する場として懇親会・宿泊コースも企画しています。各種生涯学習ポイントの付与や、修了証が発行されますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】平成25年12月14日(土) 9:00~18:00(8:30受付開始)

15日(日) 9:30~16:00

【会場】デュプレックスセミナーホテル TEL:0120-737-9263 〒302-0119

茨城県守谷市御所ヶ丘4-3-1 URL:<http://www.duplex-g.co.jp/shinmoriya/main.html>

※駐車場に限りがあります。公共交通機関および送迎バスのご利用をお願い致します。【送迎バス 8:15、8:35 TX 守谷駅発(所要時間10分程度)ご利用の方は事務局へご連絡ください。】

【対象】医師・看護師・薬剤師・介護支援専門員・社会福祉士・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等

【定員】100名

【参加費】 宿泊者 16,000円(参加費・食費・懇親会費・宿泊費含む)

宿泊無 14,000円(参加費・食費・懇親会費含む)

※2週間前よりキャンセル料が発生致します(詳細は、事務局へお問い合わせください)。

【申込み方法】申込用紙(別紙)に必要な事項を記入して下記宛にFAXにて申込みをお願い致します。(12月1日〆切)※申込み後1週間経過しても事務局から返信のない場合は、お手数ですが下記問い合わせ先までご連絡下さい。

【プログラム】

<12月14日(1日目)>

9:00~ 開講式

9:20~ 「訪問リハビリテーション総論」

松井一人 氏

(ほっとリハビリスシステムズ代表取締役 理学療法士)

10:30~ 「訪問リハに必要な評価と視点」

細田忠博 氏 (志村大宮病院 作業療法士)

13:00~ 「ケアマネジャーと訪問リハ活動(仮題)」

富永信子 氏

(おおみや総合在宅ケアセンター センター長)

13:55~ 「訪問介護士と訪問リハ活動」

森田真由美 氏

(アイシーネット介護センター 訪問介護管理者)

14:05~ グループワーク討論

◆初任者テーマ「多職種連携の在り方を考える」

◆現任者テーマ「訪問介護と自立支援に必要な情報共有のためのツール作成」

15:45~ グループワーク発表

18:00~ 懇親会

<12月15日(2日目)>

9:30~ 「訪問リハに関わる法律と制度」

張本浩平 氏

(合同会社 gene 代表 理学療法士)

10:40~ 「フィジカルアセスメント」

堀田富士子 氏

(東京都リハビリテーション病院地域リハビリテーション科 医師)

13:40~ <選択講義・ディスカッション>

★選択①摂食嚥下障害

市村和大 氏

(日本大学歯学部摂食機能療法学講座 市村歯科医院 歯科医師)

★選択②認知症

朝田隆 氏

(筑波大学 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻

精神病態医学分野 教授)

★選択③循環器のフィジカルアセスメント

井添洋輔 氏

(筑波メディカルセンター病院 リハビリテーション科 医師)

15:50~ 修了証授与式・閉講式

・茨城県理学療法士会会員は、新人教育プログラム「C-5 地域リハビリテーション」および専門・認定に関わる20ポイントが認定されます。

・茨城県作業療法士会会員は、生涯教育基礎コース2ポイント/日が認定されます。

・茨城県言語聴覚士会会員は、生涯学習プログラムの1ポイントが認定されます。

*会員証などを
ご持参下さい

【お申し込み・お問い合わせ先】

特定非営利活動法人茨城県訪問リハビリテーション協議会 事務局

筑波記念病院リハビリテーション部内 〒300-2622 茨城県つくば市要1187-299

担当: 飯島弥生・武田頼子

E-mail: ivra.npo@gmail.com / FAX: 029-877-4688

平成 25 年度茨城県訪問リハビリテーション実務者研修会
 ー F A X 専用参加申込用紙ー FAX 返信先：029-877-4688

1. 参加申込施設名： _____

住所： _____

連絡先： TEL _____ FAX _____

メールアドレス： _____

※事務局記入欄（太枠）

2. 参加申込者情報

参加者 番号	フリガナ 参加者氏名	性別	職種/年数	訪問リハ 経験年数	宿 泊 有無	★ 2 日目 選択講 義 ★	参加費
01		男・女	(年目)	(年目)・無	有・ 無	希望講義番号 ()	
02		男・女	(年目)	(年目)・無	有・ 無	希望講義番号 ()	
03		男・女	(年目)	(年目)・無	有・ 無	希望講義番号 ()	

※記入例※

例	杓の 伊の 訪問 一郎	(男)・女	ST 10 (年目)	5 (年目)・無	(有)・ 無	希望講義番号 (①)	
---	----------------	-------	---------------	----------	-----------	----------------	--

注意点

- ① 選択項目については、会場の都合上先着順で事務局にて調整させていただく場合があります。その際にはメール等でご連絡させていただきますのでご了承ください。
- ② グループワークのテーマについては訪問リハ経験年数を参考に事務局で決定します。(選択式ではありません)
- ③ 参加受付後、下記に受付番号と参加費振込先口座を記載したものを 1 週間以内に F A X にてご返送致します。※事務局で入金を確認して受付完了となります。
- ④ 振込みの際は、受付番号(下記)と参加者番号(上記)を入力後、参加者氏名を入力してください。振込手数料は各自ご負担をお願い致します。
(振込例：受付番号 001、参加者番号 01 ⇒ 00101 ホウモンイチロウ)
- ⑤ 申込用紙が足りない場合は、コピーしてご使用下さい。
- ⑥ 申込後 1 週間連絡がない場合やご不明な点等あれば、お手数ですが下記問い合わせまでご連絡下さい。

申し込み期限：2013年12月1日

【問合せ先】特定非営利活動法人茨城県訪問リハビリテーション協議会 事務局
 筑波記念病院リハビリテーション部内 担当：飯島弥生・武田頼子
 〒300-2622 茨城県つくば市要 1187-299
 FAX: 029-877-4688/E-mail: ivra.npo@gmail.com

破線より下は何も記入しないで下さい

事務局記入欄	返信日：平成 25 年 月 日
受付番号	※左記の番号は、この用紙にて申込をした上記 3 名までの受付番号になります。 振込の際、受付番号と上記の参加者番号が必要になりますので大切に保管下さい。

学会・研修会名	日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） 代謝障害に対する理学療法の基本となる考え方
日時（受付開始時間）	2013年12月22日（日）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県保健衛生会館
講師名	上月正博先生（東北大学大学院）、中川義嗣先生（水戸協同病院） 佐藤真治先生（大阪産業大学）、林久恵先生（名古屋石田学園星城大学）
受講費	2,000円
定員	80名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2013年9月1日～12月8日
申込方法	日本理学療法士協会HPマイページからの事前申し込みとなります。
問合せ先	つくばセントラル病院 総合リハビリテーションセンター 千葉浩市（E-Mail：ibarakikousyuukai@pt-ibaraki.jp）
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

スケジュール（予定）

8：20-	受付開始
9：00-10：30	講義1 代謝障害のリハビリテーションに必要な基礎知識 講 師 上月正博先生（東北大学大学院）
10：40-12：10	講義2 代謝障害に伴う小血管疾患とリハビリテーション 講 師 中川義嗣先生（水戸協同病院）
12：10-13：00	昼休み
13：00-14：30	講義3 代謝障害を中心とした生活習慣病のリハビリテーション 講 師 佐藤真治先生（大阪産業大学）
14：40-16：10	講義4 下肢血管障害に対する理学療法士の役割 講 師 林久恵先生（名古屋石田学園星城大学）

第5回訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP3～東京会場～ 募集要項

医療におけるリハビリテーションの提供体系の変化や、高齢化率の上昇に伴う要介護高齢者の増加により、在宅リハビリテーションへの関心は国民のみならず行政や関係諸団体においても年々高まっています。急性期から回復期そして維持期（生活期）への継続的なリハビリテーション医療提供体制の整備とともに主として介護保険領域の居宅におけるリハビリテーションサービスの重要性が大きくなっています。その中でも訪問リハビリテーションは地域包括ケアシステムの基本的な考え方である要介護高齢者の自立と活動性の拡大、QOLの向上等その働きかけが大いに期待されています。

このような多くの要望に応えるために理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3協会は、訪問リハビリテーションに従事するスタッフの質の向上と量的な拡大を目的とした研修会の企画開催に取り組んで参りました。3協会そして日本訪問リハビリテーション協会が共にこれまで制度化を要望してきた訪問リハビリテーションが将来的に実現した場合、量的な普及とともに管理者の要件がかなり重要性を増してくるものと予測されます。

各協会員が訪問リハビリテーションを提供する事業所の管理者として必要な、地域に望まれる事業所の遂行能力と高いコンプライアンスの実践能力、また不測の事態にも的確に対応できるリスク管理能力、そしてより広角的視座に立った運営能力等を身につけることを目的として、「訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP 1～3」を開催致します。

※今回の研修会はSTEP3と位置づけており、STEP1～3（合計9日間）のスケジュールで全課程修了となります

※旧：訪問リハビリテーション管理者研修会 → 新：訪問リハビリテーション管理者養成研修会へ名称変更

【主催】「日本理学療法士協会」・「日本作業療法士協会」・「日本言語聴覚士協会」3協会

【日程】平成26年1月17日（金）～1月19日（日）

【場所】〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目4番1号 新国際ビル 9階

アクセス：<http://www.kotsu.or.jp/bp/root/room/>（一般社団法人 日本交通協会 大会議室）

【募集規定】訪問リハビリテーション管理者（養成）研修会 STEP 2 修了者

【お申し込み】受付開始日時 平成25年11月18日（月）正午～お昼12時より

入力フォーム（<https://fs222.formasp.jp/d627/form2/>）

合同会社geneホームページ（www.gene-llc.jp）からお申し込み可能

【募集定員】150名（定員予定）

【受講料】20,000円（事前振込によるお支払いが必要）

※希望者は懇親会費（5,000円）及び、昼食お弁当代（各日1,000円）が別途必要

【内容詳細】別紙参照（確定次第、合同会社geneホームページに掲載致します）

【事務局】一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会

〒273-0125 千葉県鎌ケ谷市初富本町1-2-6-803号 TEL / FAX : 047-444-3966

【事務局代行】合同会社gene（ジーン）担当：岡本義之

〒462-0059 愛知県名古屋市中区駒止町二丁目52番地 リベルテ黒川 1階 A号室

HP : www.gene-llc.jp E-mail oka@gene-llc.jp TEL : 052-911-2800 FAX : 052-911-2803

※研修会に関するお問い合わせは、合同会社geneが一括して受け付けております

学会・研修会名	日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） 循環器疾患に対する理学療法の基本となる考え方
日時（受付開始時間）	2014年2月16日（日）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県立健康プラザ 大研修室
講師名	渡辺重行先生（水戸協同病院 センター長） 牧田茂先生（埼玉医科大学国際医療センター） 木村雅彦先生（北里大学） 高橋哲也先生（東京工科大学）
受講費	2,000円
定員	80名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2013年10月1日～2014年2月2日
申込方法	日本理学療法士協会HPマイページからの事前申し込みとなります。
問合先	つくばセントラル病院 総合リハビリテーションセンター 千葉浩市（E-Mail：ibarakikousyuukai@pt-ibaraki.jp）
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

スケジュール（予定）

8：20-	受付開始
9：00-10：30	講義1 心臓リハビリテーションの理論と効果 講 師 渡辺重行先生（水戸協同病院 センター長）
10：40-12：10	講義2 心疾患の合併症治療とリスク管理について 講 師 牧田茂先生（埼玉医科大学国際医療センター）
12：10-13：00	昼休み
13：00-14：30	講義3 急性期・回復期心臓リハビリテーションにおける理学療法士の役割 講 師 木村雅彦先生（北里大学）
14：40-16：10	講義4 維持期心臓リハビリテーションとトレーニングの実際 講 師 高橋哲也先生（東京工科大学）

5. 各種研修会等案内

平成 25 年度第 4 回茨城県介護老人保健施設協会リハビリテーション専門委員会研修会

期日：平成 25 年 11 月 15 日（金）

場所：茨城県総合福祉会館 〒310-0851 茨城県水戸市千波町 1918 電話：029-244-4545

概要：テーマ：通所リハビリテーションシンポジウム

講師：介護老人保健施設シルバービレッジ理学療法士、介護老人保健施設みがわ作業療法士、その他

内容：18:30～19:00 開場・受付

19:00～20:30 講義・質疑応答

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム「C-5 地域リハビリテーション」

第 7 回脳卒中市民公開講座

日時：平成 25 年 11 月 16 日（土）13:30-16:00

場所：境町中央公民館 〒306-0433 茨城県猿島郡境町 391-1

開会の辞：

講演 1 部脳卒中の予防について(内科の立場から)

座長：医療法人佳和会芝田クリニック院長 芝田佳三先生

1.心原性脳塞栓症について 茨城西南医療センター病院 循環器内科 部長 前田裕史先生

2.糖尿病など生活習慣病 筑波大学医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科

講演 2 部脳卒中の治療について(脳外科の立場から)

座長：靄見脳神経外科クリニック院長 靄見有史先生

3.脳卒中についての一般論 茨城西南医療センター病院 脳神経外科 科長 藤田桂史先生

4.脳卒中の最新治療～血管内治療について～ 筑波大学医学医療系 脳神経外科

閉会の辞：

※入場無料 事前登録は不要です

平成 25 年度 スミセイさわやか介護セミナー【実施案】

実施概要：今後、更に身近な問題となってくる介護について、有益な知識を一般県民に広く提供し、社会福祉の向上に寄与する

実施日：平成 25 年 11 月 16 日（土）

会場：つくば国際会議場・多目的ホール

対象：一般県民を 300 名程度

プログラム（案）

午前の部

9:30 開場

10:00 午前の部 開会・あいさつ

10:10 介護講座（90 分） 『やさしい体の動かし方（予定）』

講師：小平美代子氏・黒木勝紀氏（茨城県介護福祉会）

11:40 午前の部 終了

午後の部

12:30 開場

13:00 午後の部 開会・あいさつ

13:10 講演第 1 部（質疑含めて 70 分） 『シルバーリハビリ体操～住民主体の介護予防～』

講師：茨城県健康プラザ管理者 太田仁史氏

- 14:20 第1部終了・休憩(15分)
 14:35 講演第2部(質疑ふくめて70分) 『“うっかり八兵衛”の元気になる話(予定)』
 講師：高橋元太郎氏 俳優として活躍。「水戸黄門」の「うっかり八兵衛」役ほか
 15:50 全日程終了

特定非営利活動法人 茨城県訪問リハビリテーション協議会
＜第38回事例検討会のご案内＞

「特定非営利活動法人 茨城県訪問リハビリテーション協議会」第38回事例検討会を開催について、ご案内致します。

会員のみならず、県西地区の病院や介護保険分野で従事しているリハビリテーション専門職および医師、看護師、介護福祉士、保健分野に従事する方々もこの機会に共に学び、親睦を深めて頂きたいと存じます。皆様お誘いあわせのうえ奮ってご参加下さい。

＜テーマ＞ 訪問リハが継続できなかった2症例 ～ケアマネの立場から～

＜内容＞ 症例を通してケアマネジャーの立場から訪問リハについて検討いたします

＜日時＞ 平成25年11月20日(水) 受付18:00 開始18:30～20:30

＜場所＞ 結城病院 4階 多目的ホール

住所：307-0001 茨城県 結城市 結城 9629-1 TEL：0296-33-4161 地図：www.yuki.or.jp/

＜参加費＞ 会員：500円 非会員：1,000円 ※当日会員受付も実施しております。

＜後援＞ 公益社団法人 茨城県理学療法士会 一般社団法人 茨城県作業療法士会

＜申し込み方法＞

ホームページ上(下記URL参照)に掲載してある参加申込書(PDF)か、お送りした参加申込書に必要事項を記入し、FAXにて下記お問い合わせ先までお申し込み下さい。

特定非営利活動法人 茨城県訪問リハビリテーション協議会

URL：<http://www.tsukuba-kinen.or.jp/hospital/rehabilitation/visit-reha/index.html>

※訪問リハビリテーション実務者研修(30時間/年)としての参加者は「特定非営利活動法人 茨城県訪問リハビリテーション協議会 事例検討会参加」2時間として認定

※公益社団法人茨城県理学療法士会会員 認定単位：新人教育プログラム「C-5 地域リハビリテーション」

※一般社団法人茨城県作業療法士会会員 認定ポイント：生涯教育基礎コース1ポイント

＜お問合せ先＞

「特定非営利活動法人 茨城県訪問リハビリテーション協議会 第38回事例検討会」

担当：結城病院 桜井・坂

TEL：0296-33-4161・FAX：0296-33-4465

申し込み先 FAX：0296-33-4465
 特定非営利活動法人 茨城県訪問リハビリテーション協議会 第38回事例検討会
 担当： 結城病院 リハビリテーション科 桜井・坂 宛
 「参加」申し込み

誠に恐れ入りますが、下記にご記入いただき、平成25年11月8日(金)必着にて、上記担当までご返送くださいますようお願い申し上げます。

茨城の訪問リハビリテーションを考える会 事務局
 結城病院 リハビリテーション科 桜井・坂

所属先名称			
所属先住所	〒 住所：		
所属先連絡先	TEL：	FAX:	
	メールアドレス		
ふりがな 参加者氏名	職種/経験年数	訪問リハ経験年数	○を付けてください 会員の有無
	/ (年目)	年目・無	会員・非会員
	/ (年目)	年目・無	会員・非会員
	/ (年目)	年目・無	会員・非会員
	/ (年目)	年目・無	会員・非会員
	/ (年目)	年目・無	会員・非会員
備考			

*当日入会も可能ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

【特定非営利活動法人 茨城県訪問リハビリテーション協議会 第38回事例検討会】

担当：結城病院 桜井・坂

TEL0296-33-4161 FAX0296-33-4465

福祉職場2013フェスティバル開催要項

1. 趣旨

福祉・介護現場では、多くの人材が求められています。

そこで、これからの社会福祉を担う児童・生徒・学生をはじめ、広く県民を対象に、福祉・介護に関する広報・啓発を行うことにより、福祉の仕事や職場へ興味をもついただき、将来的な福祉・介護職への人材確保を図ることを目的として、本フェスティバルを開催します。

2. 期日

平成25年11月23日(土) 午前11時から午後4時まで

3. 場所

水戸駅ビルエクセル 本館 6階 エクセルホール・催事場（水戸市宮町 1-1-1）
シネプレックス水戸 シネマ3（水戸市宮町 1-7-44）

4. 内容

- 水戸市ビルエクセル 本館 6階（エクセルホール・催事場）
 - ・福祉のしごと紹介コーナー（老人・障害・児童（保育）福祉施設等）
 - ・福祉関係専門学校紹介コーナー
 - ・介護福祉機器等展示・体験コーナー
 - ・福祉の就職支援コーナー
 - ・仕事とこころの相談コーナー
 - ・無料配布コーナー
- 水戸駅ビルエクセル本館 2階入り口
水戸駅ビルエクセルみなみ 2階入り口
 - ・販売コーナー
- シネプレックス水戸
 - ・開会式
 - ・就職体験座談会
 - ・映画上映「最強のふたり」

5. 参加費

無料 ※どなたでも参加できます。

6. 問い合わせ先

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部
〒310-8586 水戸市千波町 1918
TEL：029-244-4544 FAX：029-244-4543

大腿骨近位部骨折連携パス診療協議会 学術講演会

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、下記の要領にて「大腿骨近位部骨折連携パス診療協議会学術講演会」を開催させて頂く運びとなりました。ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

日時：平成 25 年 11 月 28 日（木） 19：00～21：00

場所：ホテルグランド東雲 新館 2F「インペリアルルーム」 つくば市小野崎 488-1

プログラム：

製品紹介（18:45～19:00）

「リカルボン 1錠 50mg」 小野薬品工業株式会社

Session I（19:00～20:00）

座長：総合病院 土浦協同病院 整形外科 部長 河内敏行 先生

『骨粗鬆症地域連携パスの実際と成果』

大阪府済生会吹田病院 院長補佐 黒川正夫 先生

日整会専門医資格継続単位：1 単位【2. 外傷性疾患（スポーツ障害含む） 11. 骨盤・股関節疾患】

Session II（20:00～21:00）

座長：筑波学園病院 院長 原田繁 先生

『骨粗鬆症手帳を用いた地域連携パスの運用—骨粗鬆症フォローアップカードについて—』

筑波メディカルセンター病院 リハビリテーション科 科長 上杉雅文 先生

※『日本医師会生涯教育講座』（2 単位）の認定を受けております。

日本医師会生涯教育カリキュラムコード（10）チーム医療（11）予防活動（13）地域医療（77）骨粗鬆症に該当する内容となっております。

※日本整形外科学会専門医資格継続単位（1 単位）が認定されております。

※茨城県病院薬剤師会生涯教育研修（1 単位）が認定されております。

※（財）日本薬剤師研修センター認定単位が認定されております。

※会終了後、意見交換会を御用意しております。

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム：「C-5 地域リハビリテーション」

第1回茨城呼吸療法セミナー

日時：平成25年12月15日（日）9:00～16:00（受付開始8:30）

場所：土浦協同病院 管理等3階大講義室（土浦市真鍋新町11-7）

参加費：¥2000（資料・昼食代込）

参加申し込み方法：ibarakikokyu@yahoo.co.jpまで必要事項（氏名・ふりがな・所属・職種・返信用アドレス）を記載して送信してください。

定員および申し込み締切：定員100名、最終締切日平成25年11月10日（木）

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム「C-3内部障害の理学療法」

呼吸治療専門臨床工学技士 単位付与 参加8単位が所得出来ます

プログラム：

教育講演1 9:00～10:00 座長 石岡循環器科神経外科病院 川崎良明先生

グラフィックモニターの見方・活用法

～グラフィックモニターの見方・活用法を学び明日から臨床に役立てよう～

茨城西南医療センター病院 丸岡正則先生

教育講演2 10:10～12:00 座長 日立総合病院 馬乗園伸一先生

NPPVのABC

もう悩まないNPPV～マスクフィッティングからトラブルシューティング～

総合病院土浦協同病院 救命救急センターICU 看護師 遠藤祐子先生

フィリップス・レスピロニクス合同会社 営業・マーケティング本部 篠塚時人先生

昼休憩 12:00～12:50

教育講演3 12:50～13:50 座長 茨城西南医療センター病院 丸岡正則先生

徒手排痰と咳嗽トレーニング

茨城県立医療大学 保健医療学部 理学療法学科 教授 富田和秀先生

教育講演4 14:00～16:00 座長 JAとりで総合医療センター 菅原康博先生

排痰療法に使用されるデバイスについて 排痰療法いつやるの？「今でしょ！！」

日立総合病院 馬乗園伸一先生

RTX（アイ・エム・アイ株式会社）

IPV（パーカネッショア・ジャパン株式会社）

smart vest（株式会社 東機買）

acapella（スミスメディカル・ジャパン株式会社）

第11回茨城リハ医の会

日時：2014年2月16日（日）16:00～17:20

場所：つくば国際会議場 中会議室406

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20-3 TEL：029-861-0001

プログラム：

講演（16:00～16:20）

『プレタールの脳梗塞に対する最新の知見』

大塚製薬株式会社 学術・応用開発課 田崎純子

特別講演（16:20～） 座長：有田内科整形リハビリクリニック 院長 有田元英 先生

『(仮)脳卒中リハビリテーション 最新の知見』

日本医科大学付属病院千葉北総病院リハビリテーション科部長 原行弘 先生

共催：茨城リハ医の会 つくば市医師会 茨城県理学療法士会 茨城県作業療法士会

大塚製薬株式会社

～ 会費 ～

医師：茨城リハ医の会 会員：無料 非会員：1000円

医師以外：茨城県理学療法士会、茨城県作業療法士会 会員：無料 いずれも非会員：500円

※当日は軽食をご用意させて頂いております。

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム「C-5 地域リハビリテーション」

専門・認定理学療法士に関するポイント：5ポイント

当日はご参加頂いた確認の為、ご施設名、ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。尚、ご記入いただきました個人情報、本研究会のご出席者の確認及び次回のご案内の為に共催関係者のみで使用し、その他第三者に提供する事はありません。また、適切に管理し、使用目的達成後すみやかに廃棄いたします。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

問い合わせ先：

茨城リハ医の会事務局

JAとりで総合医療センター

〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1

TEL:0297-74-5551

大塚製薬株式会社 つくば出張所

〒茨城県土浦市卸町 1-1-1-4F

TEL: 029-841-5146

IPNFA(国際PNF協会)認定コースレベル3a/b

日時：平成26年4月19日(土)～23日(水)

会場：医療法人盡誠会宮本病院 茨城県稲敷市幸田 1247

講師：Dominiek Beckers IPNFA シニアインストラクター

石井篤(宮本病院) IPNFA ベーシックコースインストラクター

対象：PT、OTで6カ月以前に基礎コースか3aを修了した方

受講料：8万円

申込方法：申し込みはメールのみで先着順です。

メール：atsushi_barj@yahoo.co.jp 宮本病院リハビリテーション科 機能訓練室長 石井篤

問合せ先：電話：0299-79-2114(代)

6. 求人広告

引き続き急募！！ 茨城県理学療法士会北茨城地域自立支援センター 有償ボランティア募集

北茨城市在住・出身の方大歓迎！

茨城県理学療法士会 斉藤秀之

今までに4名の応募をいただき有難うございました。

今後在宅での療養者が増加することが予測されており、自立した生活を支援する訪問リハビリテーションサービスの必要性が望まれています。他の居宅サービスと比べて事業所は圧倒的に少なく、地域格差も大であります。また様々な在宅でのリハニーズに対する相談機能も現状では十分とは言えません。そのため、北茨城市での訪問理学療法ステーションの実現に向けて北茨城市、北茨城市立総合病院のご理解のもと、北茨城市立総合病院敷地内に「茨城県理学療法士会北茨城地域自立支援センター」を開設し、平日午後に理学療法士が1名専従で常駐しています。

これは、公益社団法人日本理学療法士協会が提唱している「地域自立支援センター」のモデル事業として日本で最初の展開です。まずは、北茨城市の住民や関係機関が共同利用できる、①関連会議への参加、センターでの相談・調整活動、②関係施設に出向いての健康支援・介護・障害予防活動、③協力病院と協力して家屋に出向く訪問リハビリテーションなどを主な活動と考えています。

このような取り組みを成功するためには、専従理学療法士のみでは対応が難しくなることは予測できます。北茨城市でのモデルを県内全市町村で実現するためにも、リハ関連3団体の会員の力を今こそ結集して頂きたいと思っています。

また、本年度は茨城県より平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業の10実施団体の1つとして本会が事業を北茨城市で展開することになりました。この事業としても週1日程度活動して頂ける方を4名程度必要です。現時点で、十分な応募がありませんので、ボランティアも引き続き募集致します。下記水戸事務所までご連絡ください。

実施期間は平成25年度で、申し込み締め切りは平成25年11月30日(土)とします。応募頂いた際には、時期を見てご説明をさせていただきますが、原則として1日及び半日単位のボランティアをお願いする予定です。多くの方のご応募をお待ちしております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。
<お問い合わせ・申し込み>

公益社団法人茨城県理学療法士会 水戸事務所 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35
茨城県保健衛生会館 1階 TEL:029-353-8474 FAX:029-353-8475

提出日 平成 年 月 日

異動届

会長 殿

この度、私は下記の通り変更がありましたので異動届をお届け致します。

会員番号(8桁)			
異動日	平成	年	月 日
所属県	県内異動	士会所属	
	県外異動	士会所属から 士会所属へ	
会員区分	勤務先会員 ・ 自宅会員 ・ 海外会員		
変更事項	改姓 ・ 自宅住所 ・ 勤務先 ・ その他()		
入会年度	(西暦)	年度	<small>【海外会員:勤務先あるいは自宅が海外の方のみ】 海外会員は下記の項目を必ず記載してください。 ・海外住所(海外勤務先・海外自宅) ・国内住所(何らかの連絡が取れる住所) ・Eメールアドレス</small>
新人教育プログラムの終了	済	未	
氏名	フリガナ	(セイ) (メイ)	旧姓
	漢字	(姓) (名)	
携帯番号	-		
自宅	郵便番号	-	
	住所		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
勤務先	フリガナ		
	施設名		
	所属部署		
	郵便番号	-	
	住所		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
	施設区分 I	-	施設区分 II
日本理学療法士協会 郵送物送付先	勤務先会員 ・ 自宅 ・ 海外勤務先 ・ 海外自宅		
日本理学療法士協会 会員名簿への記載	希望する ・ 希望しない		<small>*自宅会員は"自宅"以外の送付先は選択できません。 *刊行物の郵送先は都道府県理学療法士会とは異なる場合がございます。 *会員名簿への記載は都道府県理学療法士会とは異なる場合がございます。</small>
会費納入	年度納入済		<small>*未納会費がある場合は、提出前に所属都道府県理学療法士会へお問い合わせください。</small>
連絡事項			

<都道府県理学療法士会 確認欄>

_____ 理学療法士会事務局長 _____ 印 平成 年 月 日

<個人情報について>

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員情報は調査などにも用いる場合がございます
4. 日本理学療法士協会および都道府県理学療法士会の間で個人情報を総合利用致します

提出日 平成 年 月 日

休会届(新規・継続)

会長 殿

この度、私 以下の理由により日本理学療法士協会を休会致しますのでお届けします。

休会日	平成 年 月 日		
休会理由			
会員番号(8桁)			
所属県	士会所属		
入会年度	(西暦) 年度		
新人教育プログラムの終了	済 ・ 未		
氏名	フリガナ (セイ) (メイ)	旧姓	
	漢字 (姓) (名)		
携帯番号	— —		
自宅	郵便番号	—	
	住所		
	電話番号	— —	
	FAX番号	— —	
会費納入	年度納入済	*未納会費がある場合は、提出されても無効となります。 提出前に日本理学療法士協会もしくは所属都道府県理学療法士会へ 納入方法をお問い合わせください。	
連絡事項			

<都道府県理学療法士会 確認欄> 上記の者の休会を承知致します。

_____ 理学療法士会事務局長 _____ 印 平成 年 月 日

■注意事項

・休会期間は1年単位となります。

休会期間は4月1日から翌年3月31日までとなり、年度途中の休会も終期は3月31日となります。

・年度末までに復会・休会継続・退会いずれかの手続きが必要となります。年度末までに手続きがない場合、規定により退会となります。

・「休会継続」手続きのみ下記期間に申請をお願いいたします。

【休会継続申請受付期間】 ①Web申請・②書類による申請(士会事務局へ必着) … 1月1日～3月31日まで

・再度入会をする場合は、入会金・入会手続きが必要となります。

・当年度分までの会費の納入が確認できない場合は、届出は受理出来ません。(※当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。)

・休会中の自宅住所変更等については、異動届にて手続きしてください。

<個人情報について>

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

- 1.名簿管理・発行
- 2.協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
- 3.会員情報は調査などにも用いる場合がございます
- 4.日本理学療法士協会および都道府県理学療法士会の間で個人情報を総合利用致します

提出日 平成 年 月 日

復会届

会長 殿

この度、私は以下の理由により日本理学療法士協会を休会中のところ復会致しますのでお届けします。

休会開始年度	(西暦) 年度
休会届提出先 県士会	士会
復会日	平成 年 月 日
復会理由	

会員番号(8桁)	
所属県	士会所属 <small>*休会中の都道府県理学療法士会と県が異なる場合は、別途「異動届」の提出が必要となります。</small>
会員区分	勤務先会員 ・ 自宅会員 ・ 海外会員
入会年度	(西暦) 年度 <small>【海外会員:勤務先あるいは自宅が海外の方のみ】 海外会員は下記の項目を必ず記載してください。 ・海外住所(海外勤務先・海外自宅) ・国内住所(何らかの連絡が取れる住所) ・Eメールアドレス</small>
新人教育プログラムの終了	済 ・ 未

氏名	フリガナ	(セイ) (メイ)	旧姓
	漢字	(姓) (名)	
携帯番号		—	

自宅	郵便番号	—
	住所	
	電話番号	—
	FAX番号	—

勤務先	フリガナ		
	施設名		
	所属部署		
	郵便番号	—	
	住所		
	電話番号	—	
	FAX番号	—	
	施設区分 I	—	施設区分 II

日本理学療法士協会 郵送物送付先	勤務先会員 ・ 自宅 ・ 海外勤務先 ・ 海外自宅
------------------	---------------------------

日本理学療法士協会 会員名簿への記載	希望する ・ 希望しない	<small>*自宅会員は“自宅”以外の送付先は選択できません。 *刊行物の郵送先は都道府県理学療法士会とは異なる場合がございます。 *会員名簿への記載は都道府県理学療法士会とは異なる場合がございます。</small>
--------------------	--------------	---

連絡事項	
------	--

<都道府県理学療法士会 確認欄> 上記の者の復会を承認致します。

理学療法士会事務局長 平成 年 月 日

■注意事項

・年度途中の復会の場合は当年度会費全額納入が必要となります。(* 当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。)

<個人情報について>

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員情報は調査などにも用いる場合がございます
4. 日本理学療法士協会および都道府県理学療法士会の間で個人情報を総合利用致します

提出日 平成 年 月 日

退会届

会長 殿

この度、私は以下の理由により日本理学療法士協会を退会致しますのでお届けします。

退会日	平成 年 月 日		
退会理由			
会員番号(8桁)			
所属県	士会所属		
入会年度	(西暦) 年度		
新人教育プログラムの終了	済 ・ 未		
氏名	フリガナ <small>(セイ)</small> <small>(メイ)</small>	旧姓	
	漢字 <small>(姓)</small> <small>(名)</small>		
携帯番号	-	-	
自宅	郵便番号	-	
	住所		
	電話番号	-	-
	FAX番号	-	-
会費納入	年度納入済	<small>*未納会費がある場合は、提出されても無効となります。 提出前に日本理学療法士協会もしくは所属都道府県理学療法士会へ 納入方法をお問い合わせください。</small>	
連絡事項			

<都道府県理学療法士会 確認欄> 上記の者の退会を承知致します。

_____ 理学療法士会事務局長 _____ 印 平成 年 月 日

■注意事項

- ・当年度分までの会費の納入が確認できない場合は、届出は受理出来ません。(※当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。)
- ・会員証カードは日本理学療法士協会へ返納してください。

【 会員証カードの返納先 】

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-8-5
日本理学療法士協会事務局 会員管理部 宛

会員管理・異動に関するお問い合わせは…

⇒水戸済生会総合病院 リハビリテーション科 高橋千晶
kkanri@pt-ibaraki.jp

会費に関するお問い合わせは…

⇒茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部 中山陽介
kaihi08@pt-ibaraki.jp

新人教育プログラムに関するお問い合わせは…

⇒つくばセントラル病院 リハビリテーション部 千葉浩市
s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp

広報紙に関するお問い合わせは…

⇒いちはら病院 リハビリテーション部 森田英隆
kouhou@pt-ibaraki.jp

編集後記

「幻の東京オリンピック」を皆さんは知っているでしょうか？

「柔道の父」嘉納治五郎氏が奔走し、1940年に東京への招致を決めていましたが、戦争により開催されることはありませんでした。嘉納氏は「極東と言われる日本。遠い事により誤解が生じてしまう。直接会うことでお互いの理解を深めたい。」と考え行動していました。その意思を引き継いだ人達が、1964年に東京招致を成功させたのです。そして、2020年、インターネットにより世界中の距離が縮まった世界で東京オリンピックが開催されます。しかし、80年の時を経ても直接会う事で理解を深めたいという思いは参加する選手、関係者の中で不変ではないでしょうか。

「今の私たちの生活は先人たちの努力の上に成り立っている。」言葉にすると簡単なことですが、先人たちの意思や努力は知っておいてもよいと思います。努力すれば全てが報われるわけではありませんが、成功には必ず努力が存在するという事です。

先の選挙で山口氏が当選を果たしました。リハビリテーションの業界も「直接働きかけることでお互いの理解を深める」必要があると感じています。今がその努力をする時ではないでしょうか。

(会報編集部)

会員数：1656名

発行日：平成25年10月31日

発行人：公益社団法人 茨城県理学療法士会

代表者：齊藤秀之

編集者：森田英隆

事務局：〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号

茨城県保健衛生会館内

茨城県理学療法士会事務所

TEL 029-353-8474

FAX 029-353-8475

E-mail toiwases@pt-ibaraki.jp

